

保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校

校長だより

2025(令和 7)年

10月9日(木)

第14号

中間テスト2日目もガンバ!

きっと

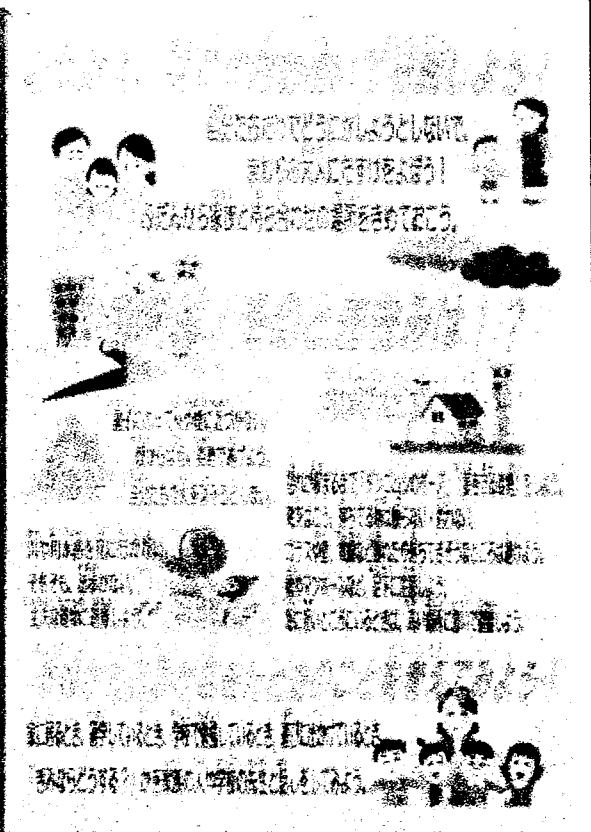
「イノシシに負けない!」～全校集会で伝えたかったこと～

昨日の全校集会では、もうひとつ「きっと イノシシに負けない。」の話をしました。

私の自宅周辺は山に囲まれており、朝にちょっとした散歩をすることがあります。その散歩の途中でいつも立ち寄る公園があります。その公園も山の隣にあるのですが、ある時そこで地面の土が深く掘り起こされた跡を見つけました。たたみ2～3畳を縦に並べたほどの広さでした。近くでは、鹿は良く出るので、(宝塚の皆はここで驚くところかもしれませんが、こちらでは日常なのです。)これまでにあまり見たことのない掘り起こし跡なので、どうやら鹿のものではなさそうです。そこで、素人(しろうと)ながら考えたのが、「イノシシの出没」でした。イノシシはごくまれに見ることがあります。(これまた宝塚の皆は驚くところでしょうか。)そこで、今後散歩中に、この公園でイノシシとバッタリ出会ったらどうするかを考えました。走って逃げるという手もありますが、イノシシの走力に勝てるか不安ですので、それはやめました。次に考えたのが、イノシシが上がってこれないところに逃げる作戦です。そう考えて辺りを見渡すと・・・ありました!公園の真ん中に高さ2mくらいの切り株の遊具(モニュメント)があったのです。まさに、イノシシよけと言ってもいいくらいのちょうどいい感じのモニュメントです。しかも、上に登れるように、足を掛けられる枝までついている優れものでした。そこまでダッシュをして、駆け登るという作戦です。ここならイノシシも登ってこれないはずです。そこで、実際にその切り株のモニュメントに登ってみました。登り始めに手で持つところ、右足を掛けるところ、左足を掛けるところとしっかりと確認しながら登りました。この様子を誰かに見られていたら、いい年齢をしたおじさんが朝っぱらから一人で公園のモニュメントに登って遊んでいると変に思われたかもしれません。それでも、私にはこの瞬間から「きっとイノシシに負けない!」という確信がわき上がってきたのです。自分の身を守るために咄嗟^{とっさ}の判断で今何をすべきかを考える力も大切ですが、もしものことを事前に考えておくことの大切さに改めて気づいたという経験です。皆さんはイノシシに出会う確率は低そうですが、私のつたない経験を参考にして、それぞれのもしもの時に備えてみてください。緊急時に一人ひとりが「何をすべきか。」というこの確認を是非行ってみてください。



写真:モニュメントの上の伊藤



今回この話をするきっかけとなったのが、昨日全校の皆さんに配布された上のパンフレットです。コミュニティ安倉の方々が中心となって作成、配布されたものです。

災害発生時の行動について、あるいは災害が起こる前に考えておくことの必要性を改めて気づかせてくれるものとなっています。「こども向け」として小学生にもわかりやすいものですので、中学生の皆さんには、「保護者向け」の方も見てください。防災関連の情報（たからづか防災マップ・災害ポータルサイト・安倉地区まちづくり協議会資料ページ・こども医療相談#8000 など）とリンクする二次元コードも貼り付けられています。自分や周りの人の命を守るためにも一度ご確認ください。

前号の「愛ことば」での地車や、今号の防災パンフレットなどこの安倉地区には、学校や保護者の方々と一緒になって皆さんの心や体を育てていこうとされている地域の大人の活動がたくさんあります。これは、当たり前のことではなく、とてもありがたく素晴らしいことです。この安倉中学校に関係する私たちは、地域の方々のそんな思いへの感謝の気持ちを常に忘れずに過ごしていかなばと考えています。

これからも「安倉中愛」だけではなく、地域全体への「安倉愛」がますます広がっていきますように。

